

# 町医者だより

<発行・お問合せ先>

おおわだ内科呼吸器内科

院長 大和田 明彦

市川市南八幡4-7-13

シャポール本八幡2階

JR本八幡駅南口(シャポール改札口)

2分ミスタードーナツ並び

ヘアサロンAsh向かいビル2階

電話 047-379-6661

おおわだ  
内科  
呼吸器内科

令和03年05月号

ここにはいけない

タイトルを読んで何のことかわからないと思います。当院に定期受診されている患者さんが、東京ベイ浦安市川医療センター（以下東京ベイと呼ばせていただきます）の循環器内科を受診された際に担当の先生に言われた言葉です。今回患者さんから事前承諾を取ったうえで何でこのようなことを言われたか説明していきたいと思います。

この患者さんは、当院で気管支喘息でフォローしていますが、東京ベイでTAVI（Transcatheter Aortic Valve Implantation）という大動脈狭窄症に対してカテーテルで人工弁を留置する手術を受けた患者さんです。TAVIはここ数年ようやく日本でも普及してきた方法です。その定期受診で病院を訪れたのでした。その数日前に心臓超音波検査を事前に受けてその数日後の循環器受診でした。担当医の先生から、最近何か症状はありますか、と聞かれたそうです。ご本人は軽い気持ちで「ここ数日喉が痛いです」とおっしゃったようです。すると担当医の先生の表情がかわりタイトルでお示した言葉を発したそうです。あなたは「ここにはいけない」患者さんです！その後、患者さんは誰もいない広い部屋に連れていかれ、そこで待つこと1時間。しびれを切らした患者さんがナースコールを押して、対応した医療スタッフにかれこれ1時間ここにいるがどうすればよいか、と尋ねたそうです（患者さんも忍耐強いです）。対応したスタッフが、別の小ぶりの誰もいない部屋に案内し待つこと30分、若いお医者さんが来て、鼻腔からのPCR検査を受けたそうです。そうです、循環器の担当医はコロナ感染を疑ったのです。別室で待たされたのは感染症担当の医者にコンサルとしてその医者が診てくれるまで待たされたのです。その後、結果は電話で知らせると言われ、お帰りくださいと追い立てられるように病院を後にしたそうです。ちなみに、循環器外来から別室に連れ去られる後ろから、心臓は問題ないから1年後の再診です、との循環器担当医からの声が聞こえてきたそうです。

当院を再診してこの話を聞かせて頂きました。数日後PCRの結果は陰性だったそうです。患者さんはとても品の良いご婦人で、ちょっと喉が痛いといっただけでとんでもない扱いされたと憤慨されながらも淡々と語っておりました。私はニコニコしながら、実は私の診療所でもそれに近い警戒をしていることとお話しました。現在、市川市でもコロナの発生件数はわずかですが、少数ながら陽性の方がおられ、それが変異ウイルスによる割合が増えています。のどの痛みだけで発熱がないなんていう方もコロナ陽性だったりします。これまでは、発熱や味覚異常をマーカーにして診てきましたが、これからは、咽頭痛、鼻水などちょっとした風邪症状（発熱がなくとも）も警戒していかなければならないと思っています。4月からマスクができない小児の診察の制限を行い、また初診や再初診の方の呼吸機能検査評価前にPCR検査を実施し、さらに5月24日からのワクチン接種を積極的に進めているのは変異ウイルスに対する危機感からです。今年の1月にコロナ感染者が市川市でも1日40名になった時、保健所の機能が麻痺しました。関東にいる患者さんは深刻ではないですが、日本は病床数が非常に多いにも関わらず、コロナになったら入院させてもらえる病院がわずかしかないという脆弱性を持つてことを是非とも覚えておいていただきたいです。